指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　福岡県緑化センター

２　指 定 管 理 者 名：　一般社団法人福岡県樹芸組合連合会

３　指　定　期　間：　令和４年４月１日～令和９年３月31日

４　施 設 設 置 目 的：　県民に対する緑化思想の普及及び啓発並びに緑化技術の指導等を行い、もって緑化の推進を図る。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取組や改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・施設の設置目的を最大限に発揮するため「緑の体感」「緑の学習」「緑の普及啓発」をキーワードに、団体の有する技術を活かして管理運営を行う。 ・「緑の相談員」の配置やホームページにＱ＆Ａを掲載するなど、緑化に関する各種相談に対応する。	・施設の設置目的を十分に理解しており、利用者に対して公平なサービスを提供している。 ・高齢者・障がい者に対する車椅子による園内案内の実施や授乳室を整備するなど、多様性に配慮した施設の運営に努めている。 ・開館時間帯は窓口に職員を配置するほか、毎週日曜日には「緑の相談員」を配置し、緑化に関する各種相談に対応するとともに、相談事例はブログにより情報発信に努めている。 ・講習会やイベントではアンケートを実施するなど利用者の意見を収集し、運営の改善に努めている。
②施設利用及びサービス向上	・ホームページや広報誌等により、各種イベントや講習会の開催情報などの周知を図る。 ・各種イベントを開催するとともに、地域のイベントと連携して施設の利用促進を図る。 ・緑の教室など各種講習会を開催する。 ・利用者ニーズの把握と対応を行い、サービス向上に努める。	・ホームページやブログ、インスタグラム、広報誌「緑化センターだより」（発行回数：２回）により、緑化講習会や施設内の開花情報などを発信しＰＲに努めている。 ・田主丸オープンガーデン(4/5～6)、グリーンフェスティバル(5/18)、梅の実収穫体験(5/22)、職場体験会(9/4～5)、農林漁業体験ツアー(9/27)、いつでもまち旅(10/11、11/30)、耳納でフェス(10/26)、緑センフェス（秋の音楽会）(11/1)、弥栄神楽保存会学習会（12/2）、みかん収穫体験(12/17)、巨瀬川幼稚園マラソン大会（1/27）、お花見日和(3/28)等のイベントを開催し、施設の利用促進に努めている。 Ｒ７年度：13回（提案内容：14回） ・緑の教室や緑化講習会、講師派遣講習会等の各種講習会を開催し、緑化技術の普及啓発に努めている。 Ｒ７年度：84回（提案内容：60回） ・緑化講習会のほか、樹木系アロマや屋外ヨガなどを題材とした講習会を実施し、利用者のサービス向上に努めている。 ・電気、消防設備等について、法定点検を実施。 ＜利用者数：40,131人＞ （前年度比＋4.7%、過去５年平均比＋42.1%）
③経営（収支）改善	・管理運営等を工夫し、経費の節減を図る。	・剪定木くずをチップ化して緑地に散布し、雑草の繁茂を抑えることで緑地管理の経費削減に努めている。 ＜指定管理料実績：41,897千円＞ （前年度比＋4.0%、H17年度比▲13.1%　※消費税分を除く） ※増加分は物価及び人件費の上昇によるもの。

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取組や改善の内容等）	管理運営の概要
④職員確保方策及び 健全な財政基盤	・緑化木管理等に精通した職員を中心とした人員配置とする。	・管理事務所には緑化木管理等に精通した人材を配置しており、その他専門職員を必要とする場合は本会から会員を派遣し、適時適切に対応している。
⑤施設管理上の個別事項	・「福岡県個人情報保護条例」に基づき保護する。 ・住民からの情報公開等に適切に対応する。 ・損害賠償責任保険に加入する。	・「福岡県個人情報保護条例」を遵守し、「福岡県緑化センター個人情報取扱規則」により対応している。 ・「福岡県緑化センターの情報公開の推進に関する規程」に基づき、情報公開に対応している。 ・損害賠償責任保険に加入している。

②点検結果

	A＋	（提案内容を上回った）
○	A	（提案内容をやや上回った）
	B	（概ね提案内容どおり）
	C	（提案内容をやや下回った）
	D	（提案内容を下回った）

【総合コメント】

・本施設の設置目的を十分に理解して、事業計画に基づき、緑を感じ・緑を学び・緑を広める場として樹木の管理に精通した職員を配置し、技術力を活かした適正な管理運営を行っている。

・アンケートの実施により利用者のニーズを把握し、樹木系アロマや屋外ヨガなどの講習会を提案内容より４割多く開催するなど、サービス向上に取り組んでいる。

・ホームページやブログ、インスタグラムにより、緑化講習会や施設内の開花情報などを発信し、積極的なＰＲに努めている。

・緑化に関する講習会の回数を増やすなど、施設の利用促進に努めた結果、利用者数は高い水準を維持している。
また、アンケートでも、講習会が分かりやすく、新たな知識を学べた等の好評の声が多く寄せられている。

以上から総合的に判断した結果、提案内容をやや上回った適切な管理運営が行われている。